



8月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 3日(土) つべつ七夕まつり 午後3時～8時〈さ〉
4日(日) [休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
11日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
12日(月) [休日当番病院] 美幌療育病院 ☎73-3145
15日(木) つべつ納涼盆おどり大会 午後6時30分～9時
〈津別神社境内〉
16日(金) よろず相談 午後1時～3時〈役場1階 中ホール〉
17日(土) リサイクル回収 午前9時～11時〈スポーツ交流館〉
第4回つべつウッドロスマルシェ 午前9時～正午
〈津別町木質バイオマスセンター〉
18日(日) [休日当番病院] 女満別中央病院 ☎74-2181
19日(月) 乳幼児相談会 午前9時～〈健〉
25日(日) [休日当番病院] 美幌 玉川医院 ☎75-2780



令和6年6月末現在
()は前月比

人口 4,018人(-7) 世帯 2,148戸(0)
男性 1,977人(-2) 女性 2,041人(-5)
高齢化率 45.69% 1,836人

メール配信システム「ささえねっと@つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法

①QRコード
から登録



②t-tsubetsu@sg-p.jp(メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録

LINEの登録方法

QRコード
から登録



※詳細は、町ホームページをご覧ください。



【212】空飛ぶ中学生

7月20日、定刻10時15分発HAC4368便は、津別中学校2年生の生徒31人を乗せ、女満別空港を飛び立った。これは、日本航空北海道支社が実施する「ふるさと教育チャーター事業」で、上空から自分たちの住む町を見つめ、町の魅力を再発見する50分ほどのチャーターフライトである。

津別町は1919年に美幌村から分村し、戦後間もない1946年に町

たてよこプラス



町長 佐藤多一

別空港に向けUターンした。上空から見る農村地帯の、区画整理された圃場の美しさに目を奪われた。グリーン、イエロー、オレンジのコントラストが素晴らしい。フライト中に、職場体験の一環として、4人の生徒が順次機内アナウンスを行った。流暢な英語のアナウンスはなかなかだった。着陸後は、地上勤務の体験も行われた。

津別町に生まれ、津別小・中学校を卒業した子が、いまANA(全日空)のパイロットになつていて。以前彼が操縦する女満別発千歳行きの飛行機に偶然乗ったことがあった。機

内アナウンスの最後に副機長の名が告げられ驚いた。着陸してふと操縦室に目をやると、笑いながら手を振っていた。後日の出会いでそのことを伝えると、搭乗の際に私を見たと云っていた。今回飛行体験した中学生の中に、将来パイロットやキャビンアテンダントを、あるいは、いつか津別町で働くことを目指す生徒がいてくれたらうれしく思う。

この日は青空に恵まれたものの、大きな雲の塊も多く、特に津別峠上空あたりは残念ながら雲に覆われてしまった。飛行機は清水町、清里町の上空を飛行し、知床岬で女満